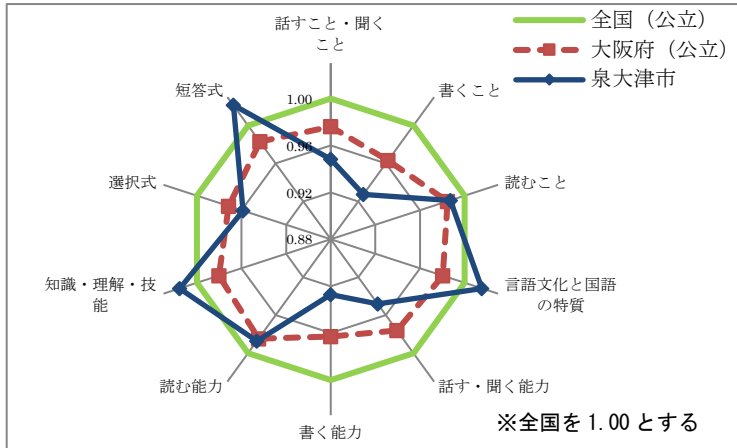


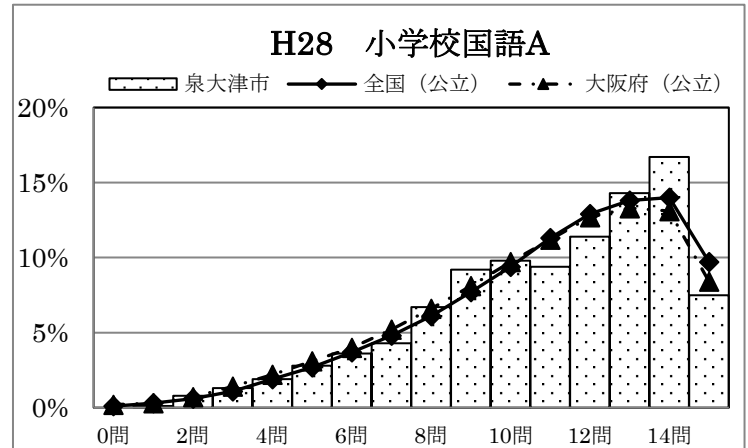
# 全国学力調査結果の詳細

## 小学校 国語 A (主として「知識」に関する問題)

### 領域・観点・問題形式別

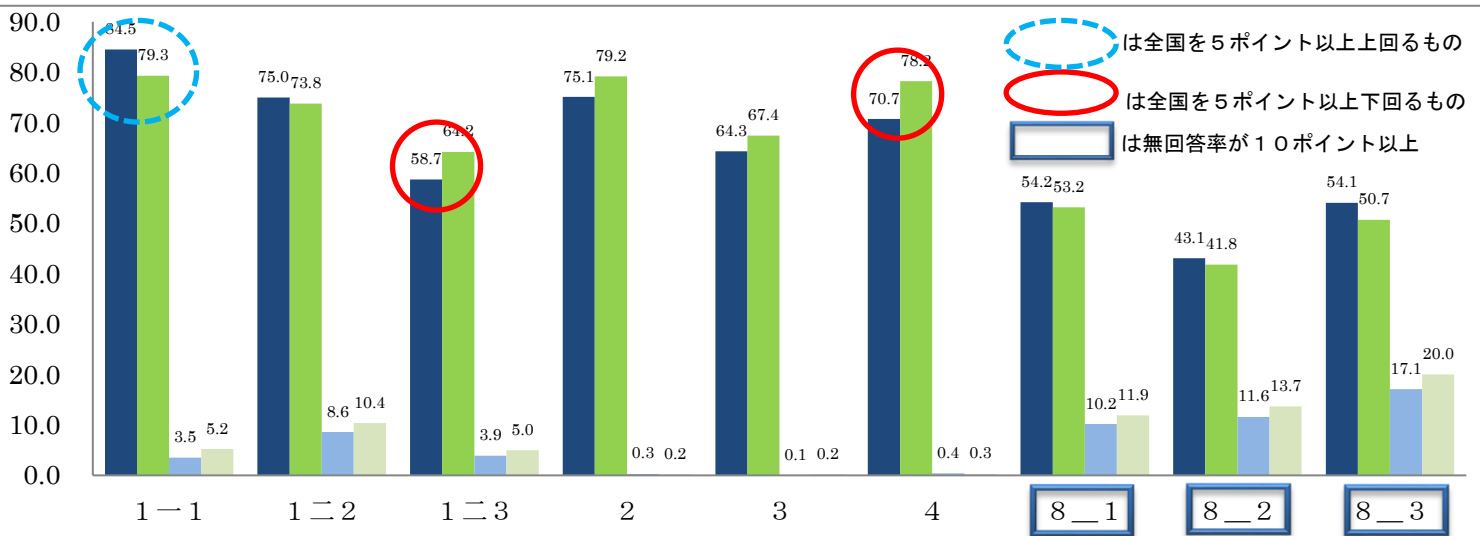


### 正答数分布



「短答式」「知識・理解・技能」について全国平均を超えた。  
「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題がある

全国・府が正答数14問を頂点とした山型分布となっている中で、本市も同様の分布になっている。13、14問正答数は全国・府より多い。



### 正答率・無回答率比較

■ 泉大津市 ■ 全国 (公立) ■ 無回答率 (泉大津市) ■ 無回答率 (全国 (公立))

### 成果及び課題のみられた問題

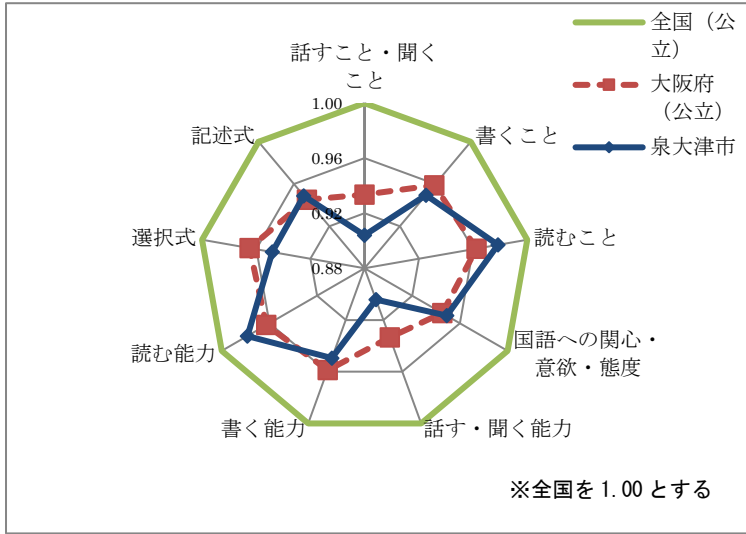
- ◇漢字を読む【1-】
- ◆目的や意図に応じて、書く事柄を整理する【4】
- ◆平仮名で表記されたものをローマ字で書く【8\_\_1, 2】
- ◆ローマ字で表記されたものを正しく読む【8\_\_3】

◇ : 成果 ◆ : 課題  
【 】 : 設問番号

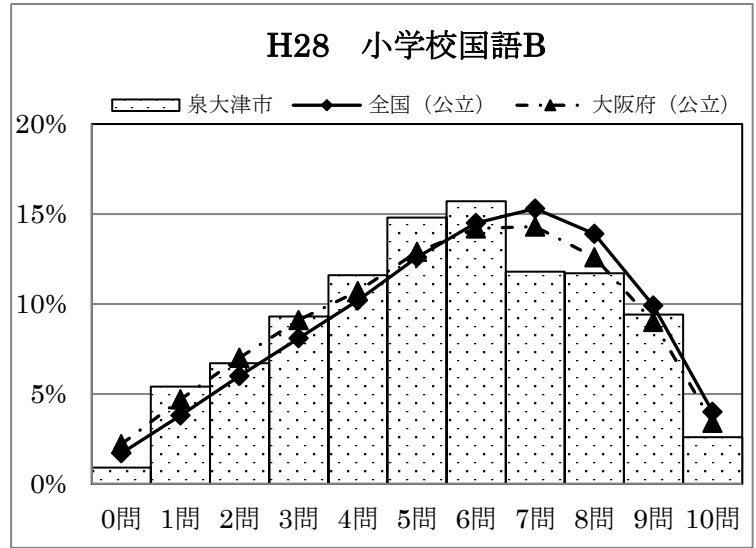
# 小学校 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

## 領域・観点・問題形式別

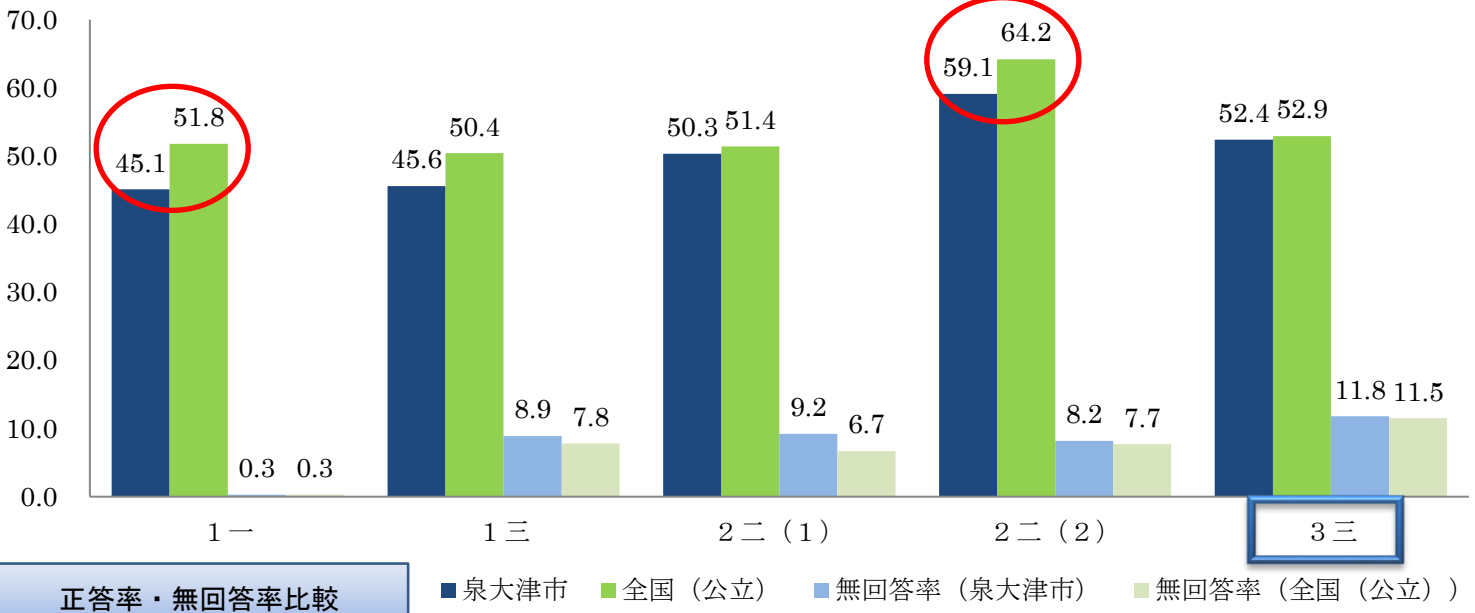


## 正答数分布



「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題がある。  
「読むこと」については、府平均は超えている。

上位層が少ない。全国・府は正答数7問を頂点とした山型分布であるが、本市は正答数6問を頂点とした分布になっている。



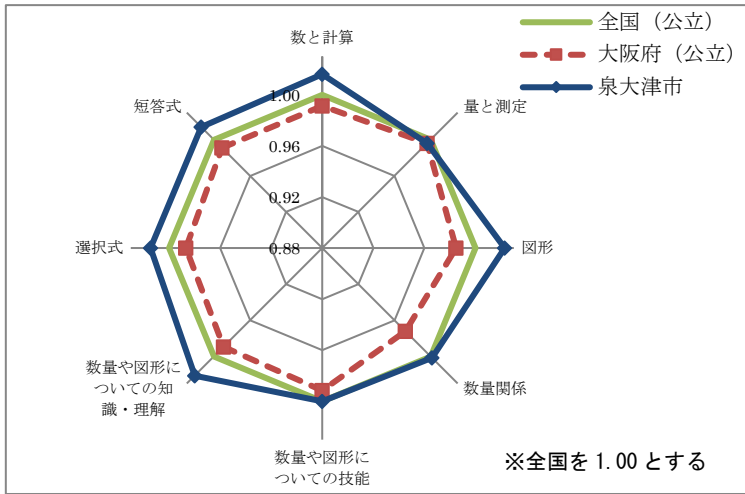
## 成果及び課題のみられた問題

- ◆目的に応じて、質問したいことを整理する【1一】
- ◆話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する【1三】
- ◆目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く【2二(2)】
- ◆目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらよむ【3三】

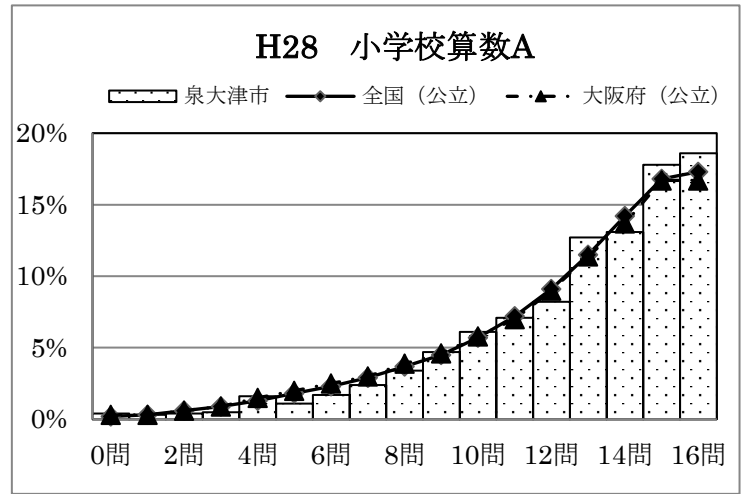
# 小学校 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

## 領域・観点・問題形式別

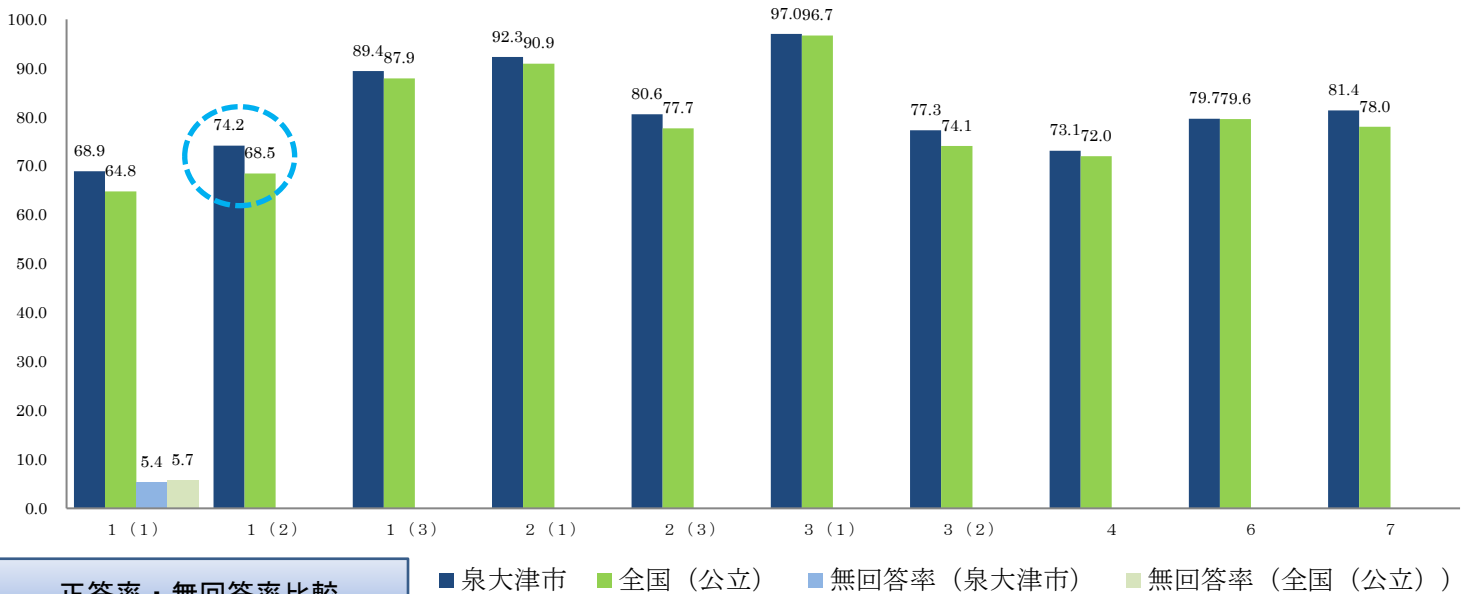


## 正答数分布



「量と測定」以外の全ての領域・観点・問題形式において全国平均を上回っている。

正答数は全国・府と同程度であり、正答数16問を頂点とした山型分布をしている。13・15・16問は全国・府より多い割合を示した。



## 成果及び課題のみられた問題

- ◇ 除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している【1 (1)】
- ◇ 除法における計算の確かめの方法を理解している【1 (3)】
- ◇ 直方体における面と面の位置関係を理解している【7】
- ◆ 示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる【9 (1)】
- ◆ 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している【9 (2)】

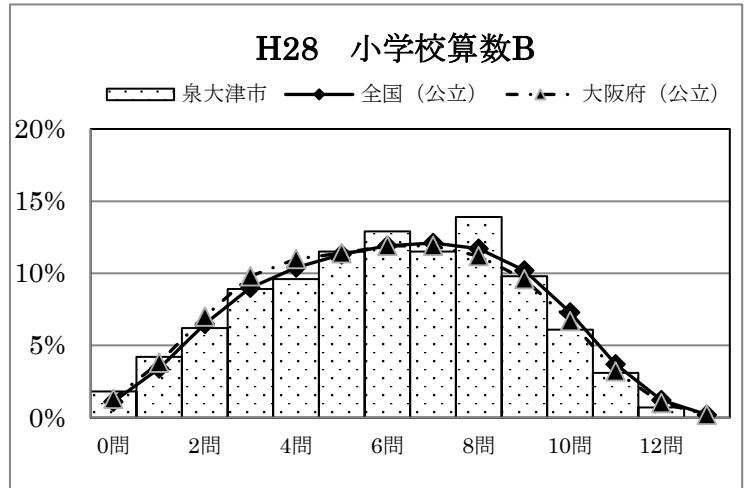
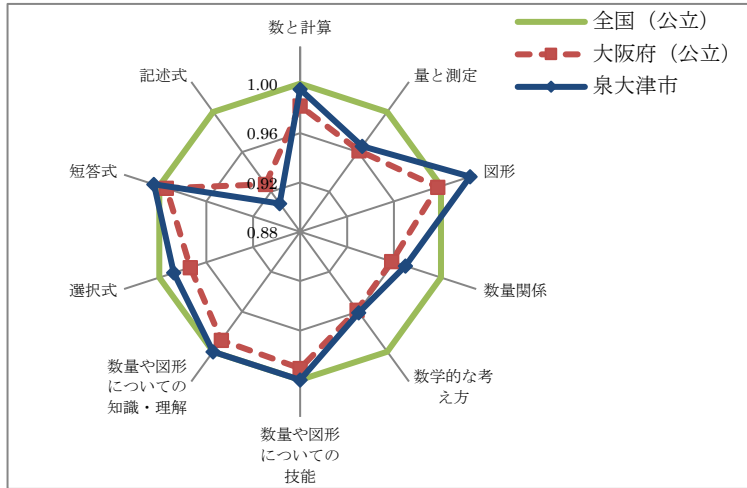
# 小学校 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

## 領域・観点・問題形式別

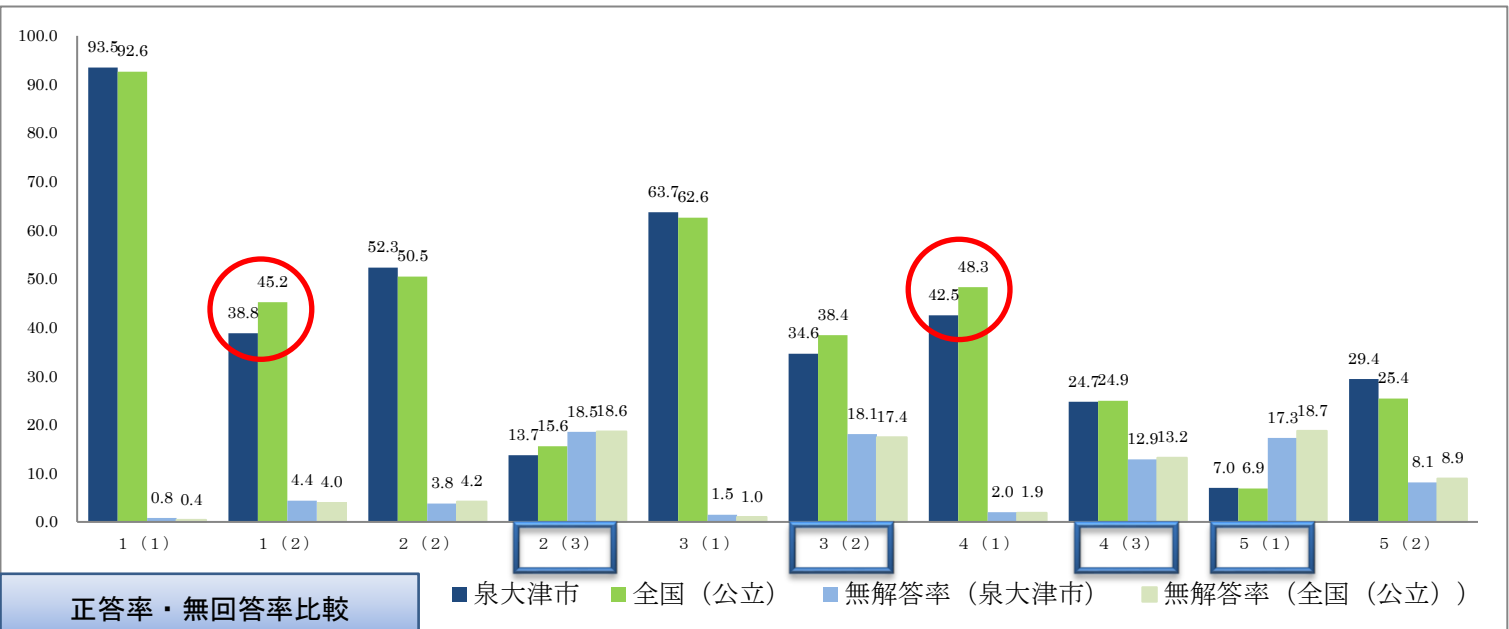
全国を 1.00 とする

## 正答数分布



「数と計算」「知識・理解」「技能」「図形」は全国平均と同程度、または超えている。  
「数量関係」「数学的な考え方」「記述式」に課題がある

上位層が少ない傾向にはあるが、全国が正答数7問を頂点とした分布に対し、本市は8問を頂点としているなど成果が見られた。



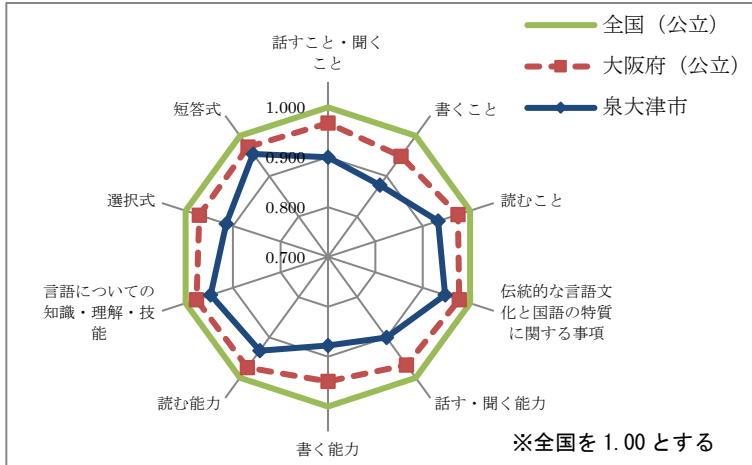
## 成果及び課題のみられた問題

- ◇示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることができる【1 (1)】
- ◆示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる【1 (2)】
- ◆示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる【2 (3)】
- ◆単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる【4 (1)】
- ◆グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる【4 (3)】
- ◆示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる【5 (1)】

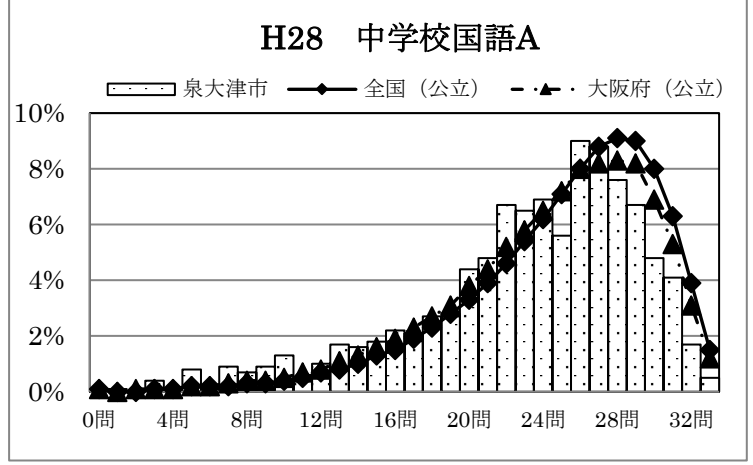
# 中学校 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

## 領域・観点・問題形式別

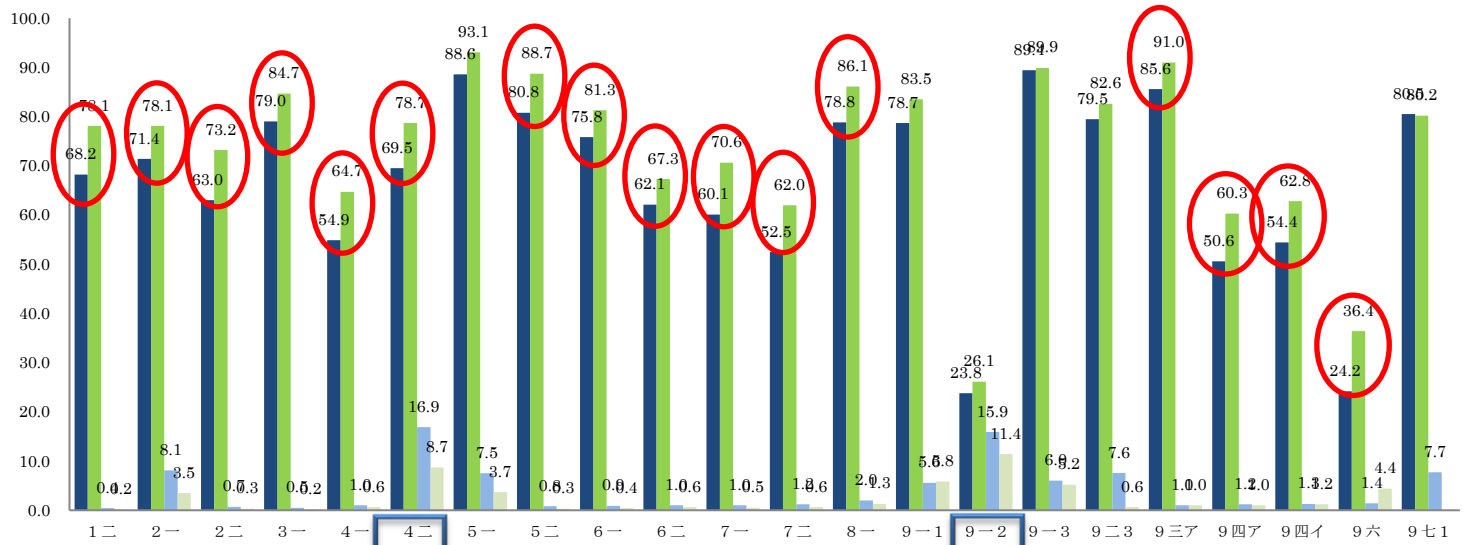


## 正答数分布



「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」などすべての領域・観点・問題形式に課題がある。

上位層が少ない。全国・府が正答数28問を頂点とした山型分布に対して、本市は26問を頂点とした分布になっている。



## 正答率・無回答率比較

■ 泉大津市 ■ 全国 (公立) ■ 無回答率 (泉大津市) ■ 無回答率 (全国 (公立))

## 成果及び課題のみられた問題

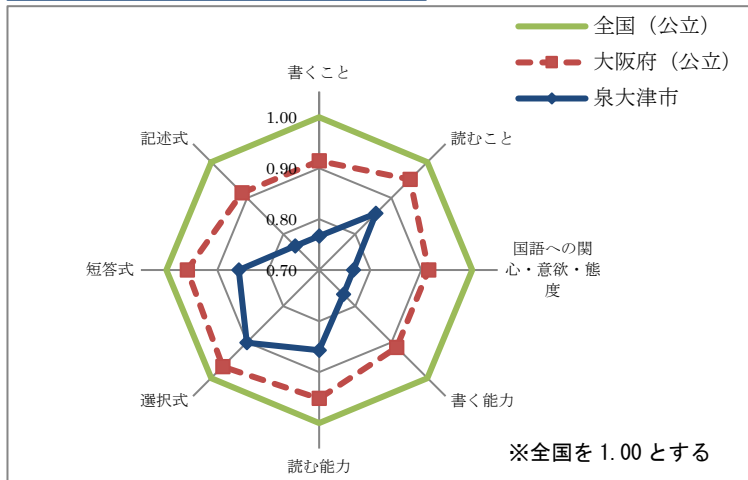
- ◆ 目的に応じて資料を効果的に活用して話す【1二】〈話す・聞く〉
- ◆ 話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する〈話す・聞く〉
- ◆ 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く【2一】〈書く〉
- ◆ 集めた材料を整理して文章を構成する【2二】〈書く〉
- ◆ 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く【4二】〈書く〉
- ◆ 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える【6一】〈読む〉
- ◆ 文脈に即して漢字を正しく書く【9一】〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉
- ◆ 辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える【9四】〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉
- ◆ 文字の形や大きさ、配列に注意して書く【9六】〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

○ は全国を5ポイント以上上回るもの  
 ○ は全国を5ポイント以上下回るもの  
 □ は無回答率が10ポイント以上

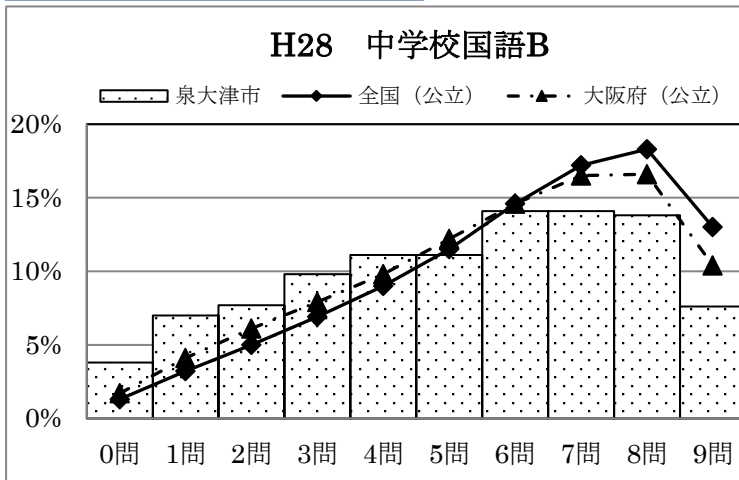
# 中学校 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

## 領域・観点・問題形式別

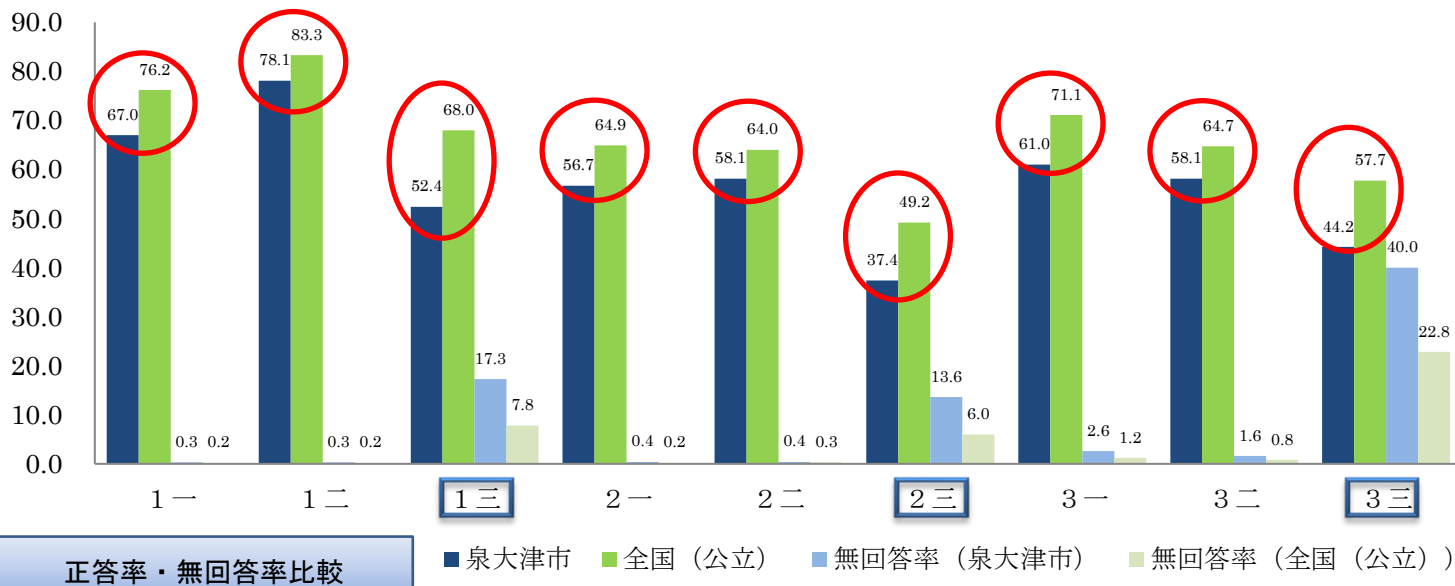


## 正答数分布



すべての領域・観点・問題形式に課題があるが、「書くこと」「関心・意欲・態度」「記述式」は特に課題がある。

上位層が少なく、下位層が多い。  
全国・府が正答数8問を頂点とした山型分布に対し、本市は6・7・8問がほぼ同じ割合になっている。



## 正答率・無回答率比較

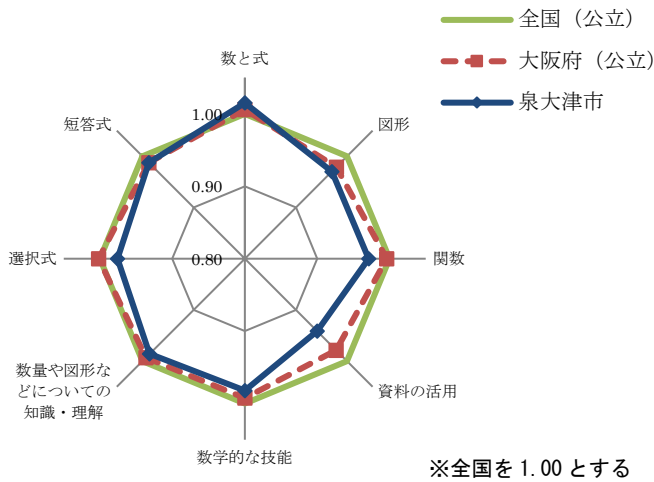
## 成果及び課題のみられた問題

- ◆文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える【1一】〈読む〉
- ◆文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く【1三】〈書く〉〈読む〉
- ◆文章の構成を捉える【2一】〈読む〉
- ◆課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える【2三】〈書く〉〈読む〉
- ◆文章の展開に即して内容を理解する【3一】〈読む〉
- ◆本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く【3三】〈書く〉〈読む〉

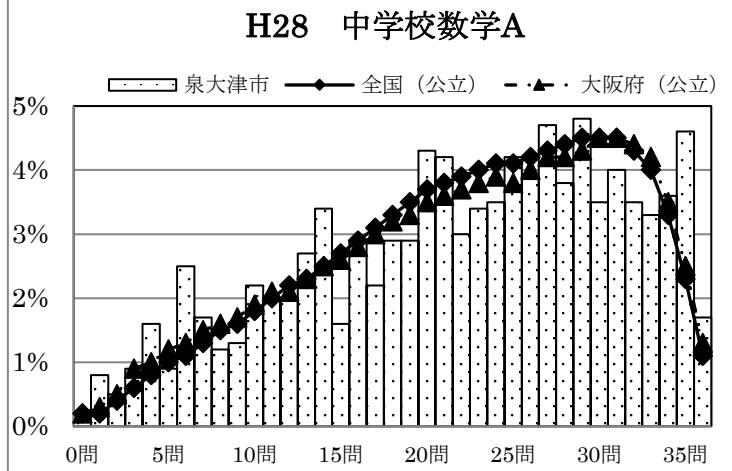
# 中学校 数学 A

(主として「知識」に関する問題)

## 領域・観点・問題形式別

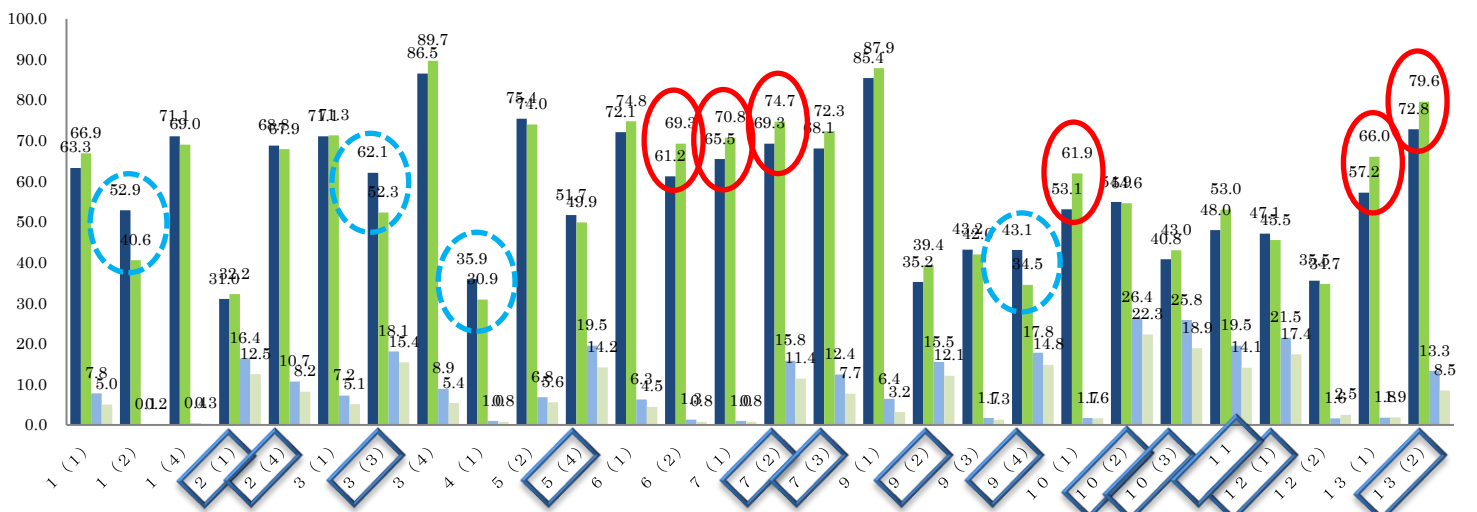


## 正答数分布



「数と式」は全国平均を超えているものの、それ以外の領域・観点・問題形式に課題があり、「資料の活用」においては特に課題である

上位層が少ない。全国・府が正答数31問を頂点とした山型分布に対し、本市は凸凹が見られる分布をしている



## 正答率・無回答率比較

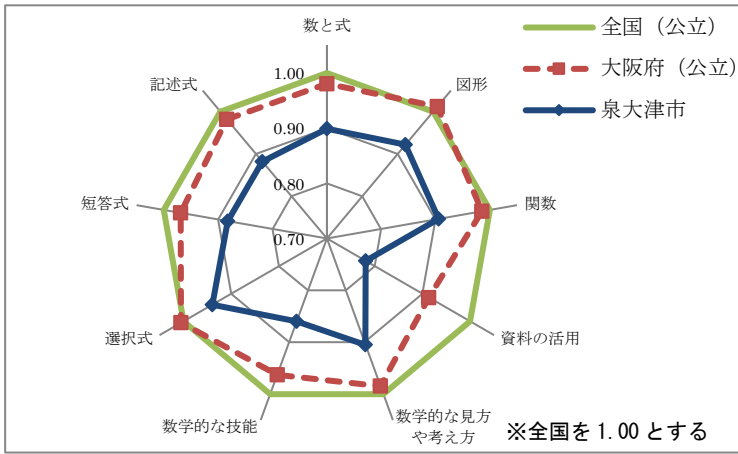
## 成果及び課題のみられた問題

- ◇具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることのできる【2 (4)】〈数と式〉
- ◇垂線の作図の方法について理解している【4 (1)】〈図形〉
- ◆数量の関係を文字式に表すことのできる【2 (1)】〈数と式〉
- ◆多角形の外角の和の性質を理解している【5 (2)】〈図形〉
- ◆ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことのできる【7 (2)】〈図形〉
- ◆比例の式について、 $x$  の値の増加に伴う  $y$  の増加量を求めることのできる【9 (2)】〈関数〉
- ◆一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している【10 (1)】〈関数〉
- ◆資料を整理した表から最頻値を読み取ることのできる【12 (1)】〈資料の活用〉
- ◆「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解している【13 (1)】〈資料の活用〉

# 中学校 数学 B

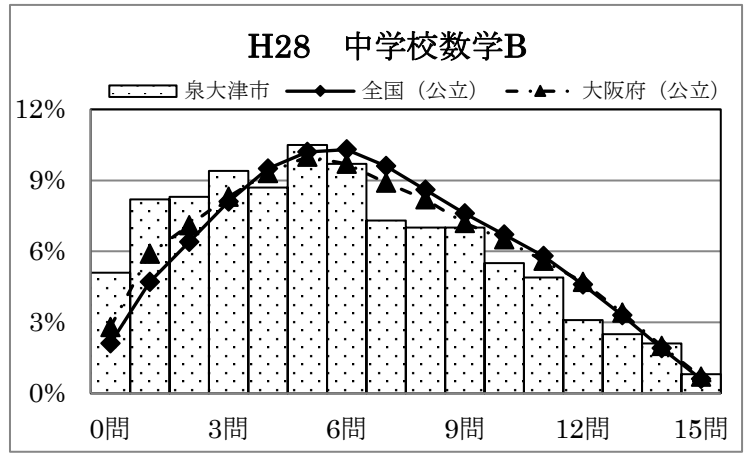
(主として「活用」に関する問題)

## 領域・観点・問題形式別

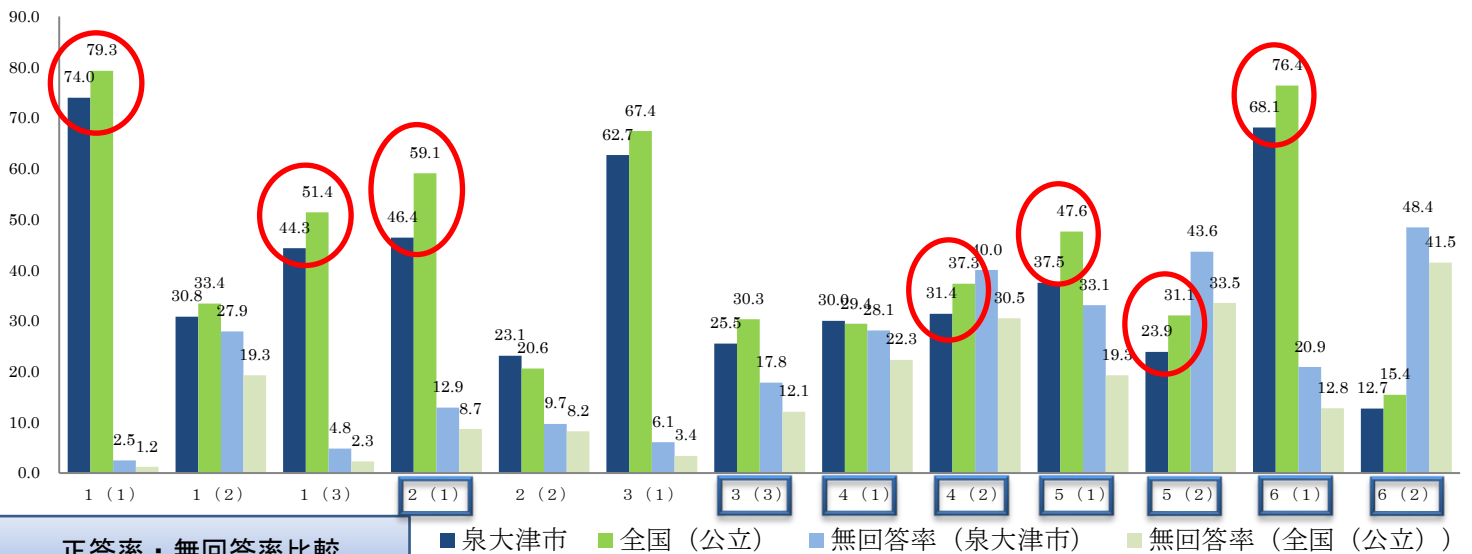


すべての領域・観点・問題形式に課題があるが、「資料の活用」について特に課題がある。

## 正答数分布



中・上位層が少なく、低位層が多い。全国・府が正答数6問を頂点とした山型分布に対し、本市は5問を頂点とした分布である。



## 成果及び課題のみられた問題

- ◆与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる【1 (1)】〈数と式〉
- ◆適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる【1 (2)】〈数と式〉
- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる【3 (3)】〈関数〉
- ◆付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる【4 (2)】〈図形〉
- ◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる【5 (1)】〈資料の活用〉
- ◆与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる【5 (2)】〈資料の活用〉
- ◆問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる【6 (1)】〈数と式〉
- ◆与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる【6 (2)】〈数と式〉